

1.はじめに

令和 2 年度の法人事業運営は、前年度に引き続き、中期経営計画ビジョンの実現を柱に、当年度の基本方針及び各施設の重点目標の達成を目指して、各施設・事業所がそれぞれの地域の中で取組みを進めてきました。しかし、新型コロナウイルス感染防止の中での事業推進と利用者サービスの提供になって、試行錯誤しながらも推進してきました。

コロナ禍の状況で、利用者や職員の安全と健康を保ちながらも、事業推進と利用者サービスの提供がどうにか出来てきたその背景としては、いくつかの理由が挙げられます。

その 1 つの理由として、当法人の緊急事態体制の見直しによる確立と新型コロナウイルス感染予防に関するマニュアル等の作成を実施してきたことが、結果として新型コロナウイルスの防止に繋がってきたということです。

以前当法人では、入所、通所施設のインフルエンザ感染症の蔓延による施設の閉鎖の経験があったことから、いち早く緊急事態（災害等）の体制整備を充実し、各種のマニュアル等を作成して実施いたしました。その結果として現在のところ感染発症がありません。

利用者及び家族の皆様の在宅支援の実施や新しい生活様式による日常の活動支援へのご協力、そして職員の方々の接触対策、感染対策、体調管理など感染予防の徹底した取組みがあったからこそ、依然として何とか安定した事業の推進や利用者サービスの提供をすることができました。

その他の理由としては、事業目標の達成とサービス向上に向けての確かな実施を実現するために、施設長人事による新施設長のもと、BSC 事業計画の策定による業務改善等を全職員が積極的に進めたことです。

当法人の利用者サービスにおいては、入所者の高齢化による障害の重度化への対応、親の高齢化の負担軽減の対応、発達障害への対応などです。また運営面では職員の処遇改善、利用者工賃のアップなど、多くの課題を抱えています。

そこで、根本的に解決を図るために実施したのが、施設長人事と BSC 事業計画の策定による取り組みです。利用児者のサービス向上、人材確保と育成、組織の能力強化と活性化等に積極的に取り組むことで、コロナ禍でしたがどうにか推進することができました。

これは、施設長はじめ職員の皆さんが各施設の抱えている課題に対して真摯に受け止めてもらい、課題解決に向けて積極的に取組んだことが良い結果に結びついたものです。

新型コロナウイルスの感染の先行きの不透明さの中、今年度の事業推進につきましては、利用者ご家族をはじめ多くの皆様のご協力によって何とか取り組み推進することができました。次年度は、変異株のコロナ禍の厳しい状況が予測できますが不断なく事業の推進に努めてまいります。

令和3年3月

理事長 草本 武俊